

## 事業者向け

## 放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	3	4	1	・基準のスペースはありますが、活動や学習時など工夫を行っています。
	2	職員の配置数は適切であるか	5	2	1	・送迎の時間帯等で職員が少ない場面がありますが、少ない時でも安全に過ごせる様活動などを工夫して対応していきます。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	3	4	1	・階段には両側に手すりが設定されております。今後も安全性に配慮し、障がいの特性やそれぞれの児童の個性に合わせた環境を整えていきます。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	5	2	1	・朝礼や適宜話し合いにて、業務改善を都度行っています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	3	5		・連絡帳や送迎時等、直接のご連絡(電話、LINE等)にて保護者様の意向を確認していきます
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6	2		・自社のホームページで公開しております。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3	4	1	・外部評価実施に向け検討していきます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6	2		・今後も積極的に研修機会を増やしていきます。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	2		・関係機関との連携を図り、児童の現状と今後の課題に沿った支援計画を作成していきます。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	4		・個別支援計画を使用しています
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	2		・全員で考え、意見を出し合い助言をもらっています
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7	1		・毎週同じプログラムにならないように工夫しています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4	3	1	・平日は限られた時間の中で質の高い支援を行います。休日などは屋外活動など児童の満足度の高い活動を行います。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	3		・個別の内容が定まっていなくて今後個々の能力をみていくことが必要。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4	3	1	・毎朝、必ずミーティングをおこない、その日の支援の内容や役割分担を行っています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4	2	2	・ケース会の中で、個々の必要な活動計画、情報共有を行っています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6	2		・その日の支援内容など気になったことは職員間で共有することで支援の改善に努めています。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	7	1		・定期的にモニタリングをおこない、現状の把握をして見直しの必要性を判断していきます。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	6	2		・ガイドライン総則の基本活動を適切に選択し、複数組み合わせ、保護者様のご意向や児童の課題を判断したうえで、支援内容を設定していきます。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4	4		・管理者・児発管が参画し、必要に応じて専門職員の同席も検討していきます。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	6	2		・学校をはじめとする各関係機関との情報共有が不十分であり、支援内容が不透明。情報共有を行い、支援内容の統一を図っていきます。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	3	4	1	・現在医療的ケア児はご利用されておりません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	3	5		・今後も関係機関と連携して支援内容等の情報共有と、相互理解を図っていきます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	3	5		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	3	2	・関係各所との会議には積極的に参加し、専門機関との連携により、より良い支援に繋げていきます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3	1	4	・今後は是非交流の機会を得たいので検討していく。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	2	2	4	・研修が行われる際は、積極的に参加していきます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5	3		・連絡帳はもちろん、送迎時に保護者に伝えており、必要時はLINEや電話連絡を行っている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	4	3	1	・色々な不安点もあるが、必要なご家庭にはもっと行ってきたい。 ・送迎時や来所持、電話対応等、保護者への対応の仕方、支援に関しての専門的な知識をもっと職員が学ぶ必要があると思う。“療育”を保護者以上に理解し、保護者支援を行っていく必要がある。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4	4		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4	4		・もっと保護者からの悩みが聞き出せる様な関係を築けるように工夫しなければいけない。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	4	4		

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	1	1	・児童や保護者様が相談しやすい環境作りに努め、日頃からご理解と連携の取りやすい環境を目指してまいります
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4	2	2	・現在SNS、ホームページでは配信できておりません。個別にLINEにて活動の様子を(写真含む)お知らせさせていただいております。
	35	個人情報に十分注意しているか	6	2		
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6	2		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	5	2	1	・今後の検討課題としていきます。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	6	1	1	・保護者様にもお知らせできていないので今後周知できるよう検討していきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5	2	1	・定期的な情報更新に努め、今後も職員への周知を徹底し、細心の注意を払っていきます。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6	2		・年2回身体拘束、虐待防止の研修を行い、虐待がおこらないよう職員間で徹底しています。また委員長には外部の研修も積極的に受講してもらい、研修や伝達講習にて職員へ周知しております。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	7	1		・身体拘束が必要な利用児様には個別に保護者様へご説明し、同意書をいただいております。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6	2		・食物アレルギーの利用児においては医師の指示書を確認し、アレルギー対応リスト表を作成し、職員への周知を徹底して細心の注意を行っていきます。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4	4		・ヒヤリハットがあった際は毎回報告書を作成して職員全員で情報共有を行い、今後の対策を行ってまいります。